

事業の概況

震災の影響で厳しい状況の中、 IT投資は持ち直し傾向

当第2四半期連結累計期間(2011年1月1日～2011年6月30日)におけるわが国経済は、外需主導で景気が持ち直しつつありましたが、東日本大震災による影響で計画停電、ガソリン不足、サプライチェーンの混乱などによる素材及び部品等の供給不足、それによる生産活動の低下が発生しました。また福島原発問題に端を発した電力不足が生産活動へ及ぼす影響への懸念など国内の問題に加え、海外では米国経済の先行きや新興国のインフレ、欧州諸国における財政問題の懸念もあり、国内企業はIT投資に対して慎重な姿勢をとってきました。一方、震災以降、節電対策やBCP(事業継続計画)構築などITに関連する新たなニーズも急速に顕在化し、IT投資は持ち直してきました。

外部環境

震災の影響で厳しい状況の中、上向きの動きも

世界経済は緩やかな回復続くが、減速感も
円高継続、輸出は持ち直し
サプライチェーン立て直し、生産は上向きの動き
倒産数は低水準で推移
設備投資は下げ止まり

IT投資は持ち直し傾向

当社グループの取り組み

このような中で当社グループは、「お客様の信頼に応え、ITでオフィスを元気にする」を2011年度のスローガンに掲げて、お客様との接点を強化して生産性向上、投資対効果の高いシステム提案を積極的に行いました。また複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材の整備・拡充、魅力ある保守サービスの開発等ストックビジネスの充実を通じて、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築することによる収益基盤の強化を図りました。2月には東京、大阪、名古屋において今年で34回目となるプライベートフェアの開催を通じて、企業におけるIT投資の活性化に努めました。

当社グループの取り組み

コスト削減、生産性向上、競争力強化につながるシステム提案
お客様接点の強化、フロントライン強化
「全員参加型」の活動
震災後のお客様ニーズに合った提案
ストックビジネス強化「たのめーる」、「たよれーる」
被災地への支援

震災後は、被災機修復の無償対応や代替機の貸し出し、グループウェアサービスの無償提供により被災地企業の支援を行うとともに、時機を捉えたITによる節電対策ソリューションやBCPソリューションの提案を行いました。

増収、二桁の増益

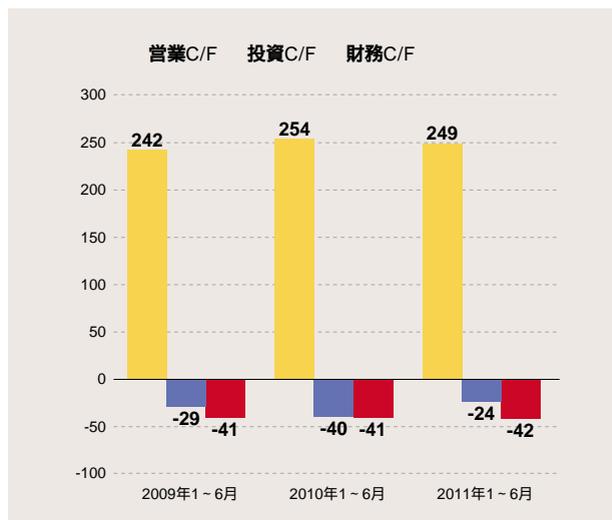
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,491億44百万円(前年同期比2.0%増)となりました。利益につきましては、売上総利益率の改善により、営業利益139億43百万円(前年同期比14.1%増)、経常利益143億5百万円(前年同期比14.2%増)となりました。純利益につきましては、資産除去債務会計基準適用の影響5億10百万円もあり、78億24百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

(単位:百万円)

	2010年1~6月	2011年1~6月	
	金額	金額	増減率
売上高	244,295	249,144	+2.0%
営業利益	12,216	13,943	+14.1%
経常利益	12,529	14,305	+14.2%
純利益	7,057	7,824	+10.9%

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加、法人税等の支払額の増加などにより249億13百万円(前年同期比5億56百万円減)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、建て替えを行っていた横浜ビルの竣工などにより24億77百万円(前年同期比15億47百万円減)となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、42億6百万円(前年同期比23百万円増)となりました。

四半期別の概況

売上高の推移

売上高は、第1四半期(1～3月)においては、前年同期の学校ICT環境整備に伴う需要の反動や、震災の影響により、減収となりましたが、第2四半期(4～6月)においては、増収に転じました。

2011年第1四半期(1～3月)売上高は、1,239億74百万円(前年同期比0.6%減)となり、2011年第2四半期(4～6月)売上高は、1,251億69百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

経常利益の推移

経常利益については、第1四半期(1～3月)、第2四半期(4～6月)とも、売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を上回ったため、増益となりました。

2011年第1四半期(1～3月)経常利益は、52億93百万円(前年同期比4.2%増)となり、2011年第2四半期(4～6月)経常利益は、90億11百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



事業セグメント別の概況

システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、震災前は企業におけるシステム更新需要やIT投資に積極的な企業の需要を掴みました。一方、震災後はサプライチェーンの混乱などによる影響がありましたが、節電対策やBCP構築に対する新たなニーズが顕在化し、これらのニーズへの取り組みもあり、売上高は1,412億86百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、震災後の計画停電や自粛ムードの影響を受け売上が減少したサービスもありましたが、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」を堅調に伸ばした結果、売上高は1,071億4百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

その他の事業

その他の事業では、売上高は7億53百万円(前年同期比33.0%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

